

NSG安全・品質計画2028

「一人ひとりが気づきを増やして再発防止と新たなリスクに対応する」



株式会社 日本線路技術



NSG安全・品質計画2028 トップメッセージ



当社は今大きな変革期を迎えています。在来線モニタリングの拡大や新幹線モニタリング事業の開始など新しい未来に向け大きく羽ばたこうとしています。そのために最も大切なことは、安全・品質を高め検測や探傷等で培った正確なアウトプット（検査結果）を欠かすことなく出し続け、お客さまからの揺るぎない信頼を築くことです。

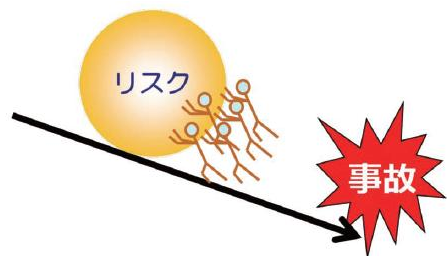
この安全・品質をさらにレベルアップしていくために、「NSG安全・品質計画2028」を3つの観点から策定しました。

1つ目が「一人ひとりが主役」です。安全・品質は一人ひとりが役割に応じて自ら考え行動しチーム全員で作り上げるものです。設備やシステムの整備によりリスクの低減を図っても最後の砦は人です。安全・品質の天敵である「過信（驕り）」と「慢心（怠け）」を断ち切り主体的に行動していきましょう。

2つ目が「再発防止」です。どんなに優れた人間もミスをするものです。これだけたくさんの仕事をしていればミスするのはやむを得ないことです。ただし同じミスを繰り返さないことが肝要です。チェックメモを作るなど一人ひとりが他の好事例を参考に自分なりの対策を講じて再発防止に努めることが大事です。さらに他で生じたミスは自分も起きうると考え、他山の石としてミスを起こさないようにするように心がけましょう。

3つ目が「新たなリスクへの対応」です。安全システムの変更等の環境変化だけでなく新幹線モニタリング等の新たな取組みによりこれまでにないリスクが現れてきます。仕事の流れをイメージしどのようなリスクがあるのか予見し安全・品質を先取りしていきましょう。

以上の点を留意し、当社の行動様式として「学ぶ」・「診る」・「気づく」・「実践する」の4つのステップを明示しました。一人ひとりが自ら学び、学んだ知識や経験を基に作業をよく診て気づき実践していきましょう。安全・品質に100%はありません。ただ100%を目指して弛まぬ努力を重ね、ひたむきに着実にレベルアップを続けましょう。



株式会社
代表取締役

日本線路技術
原田 彰久

全体構成

「一人ひとりが気づきを増やして再発防止と新たなリスクに対応する」



「再発防止」

「新たなリスクへの対応」

NSGの行動様式

学 ぶ

診 る

気づく

実践する

NSGの取組み

社員 一人ひとりが自ら学び気づき実践する

学びの場の拡大

気づきを増やす取組み

気づき実践する取組み

しくみの構築

環境変化に適応する取組み

ルールの最適化

4つの着眼点

①「人（ヒト）」と「機械(システム)」の関わり方の変化

②「仕事」と「組織」の見直し

③「コミュニケーション手段」の変化

④「自然災害」の激甚化・頻発化



設備投資

RFD-Mの改良
AI導入による効率化
判定補助システムの改良など



改善サイクル（業務レビュー）

的確な実態把握と仕事の本質を踏まえた議論

NSGの目指す安全

【安全の追求】
お客さまの死傷事故ゼロ、
社員の死亡事故ゼロ

NSGの目指す品質

【品質の追求】
卓越した線路技術の提供、
正確かつ途切れの無いデータの提供

安全・品質の
レベルアップ

【5年後の数値目標】

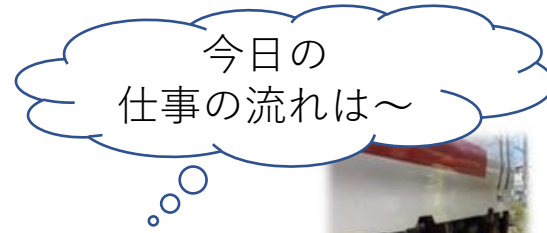
分類		目標
重大事故等	「重大事故」	0（完封）
	「重大事故につながる取扱い誤りや機器故障等」	0（完封）
	「重大事故に至らない取扱い誤りや機器故障等」	0（再発）
品質不良	「お客さま安全に関わる品質不良」	0（完封）
	「顧客の信頼を損なう品質不良」※	2件以下
	「顧客への影響が軽微な品質不良」※	10件以下

NSGの行動様式



学 ぶ

- ・ 機器・装置のしくみ・構造・動作原理を理解する
 - ・ ルールが定められた意図・経緯・成り立ち・背景を知る
- 気づきを増やす
- ・ 過去事象（教訓）や先輩たちの経験を追体験する
 - ・ マイ・ハット好事例を見做う



診 る

- ・ 仕事や作業の流れ、手順を確認する
- ・ 検測車や探傷車の動き、ルートを把握する
- ・ 機器の点検
- ・ システム動作確認



気づく



- ・ リスクが予見できる
- ・ 変化点を意識できる
- ・ 最悪どうなるか想定できる
- ・ 機器故障の予兆を察知できる



実践する

- ・ 外してはいけないポイントを明確にして共有する
- ・ メモして失念防止する
- ・ 声出して確認する
- ・ 機器トラブルに迅速に対応する

社員一人ひとりが自ら学び、診て、気づき、実践する
それがNSGの考える安全と品質の姿（かたち）

NSGの取組み



①学びの場の拡大

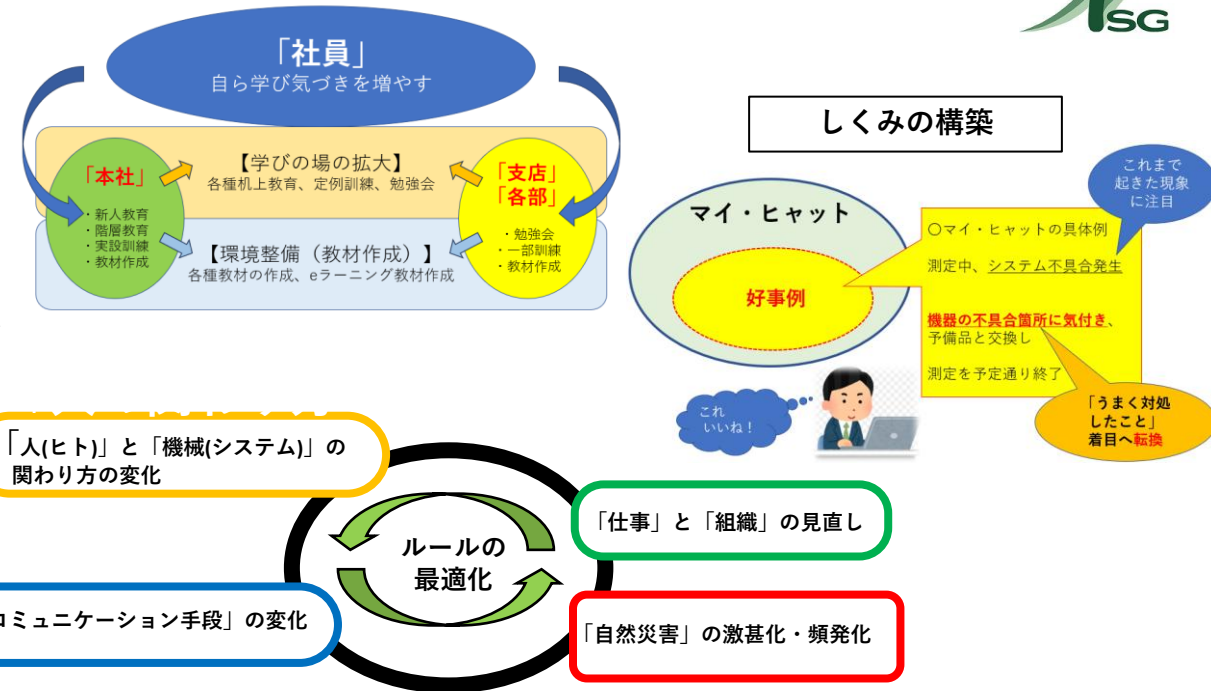
⇒ 測定原理やルールの成り立ち等を理解し気づきを増やす学びの場の拡大と社員一人ひとりの工夫やコツなどの気づきを教材化し共有する

②しくみの構築

⇒ 徹底したリスク検討による新たな気づきの増やしとマイ・ヒヤットや過去事象から得られた気づきを活用するしくみを構築する

③ルールの最適化 (アップデート)

⇒ 環境変化に気づきルール・マニュアル・手順等を常に最適化していくことで変化に適応する



気づきを増やすための取組み

学びの場の拡大

知る・考える・理解する

気づき実践する取組み

しくみの構築

徹底したリスク検討

マイ・ヒヤット、過去事象の活用

環境変化に適応する取組み

ルールの最適化

環境変化に気づきルールをアップデートする